

学生時代の社会経験がビジネスマナー習得に及ぼす

影響

ビジネスマナーを身に付けることは社会で働く際に必要なスキルであるがそれを学ぶ機会は人によって様々である。そこから社会経験の多い学生ほどビジネスマナーを取得できているのではないかという仮説を立て、ゼミの3, 4年生を対象に社会経験のアンケート調査を行った。その結果、ビジネスの場面により近い経験をしている学生はビジネスマナー力が高くなるという結果が分かった。この結果から大学教育において社会で働くことに近い経験をさせる必要があると考えた。しかし今回の調査では回答数が少なかつたため経験の有無による分析のみになってしまったが多くの回答が得られたならば経験の種類による分析もできたのではないだろうか。